

社会福祉法人 和悦会

羽曳野特別養護老人ホーム(大阪府羽曳野市)



横田相談員
龍谷大学卒
社会福祉士・精神保健福祉士

羽曳野特別養護老人ホームでは、「部門制介護」を取り入れ、食事・排泄・入浴の3大介護を3つのチームに分担して行っています。従来の方法は、それぞれの職員が食事も排泄も入浴も行うことで、慌ただしく動く事になってしまったり、一つ一つの介助が疎かになってしまいがちです。それを、それぞれの部門で分けることで、各部門に集中して業務ができるので、スタッフの動きにもゆとりが生まれ、利用者様にやすらぎの空間を提供することができます。例えば、入浴介助時には肌を露出することが増えるので不安を感じる利用者様もいらっしゃいますが、いつも同じ顔ぶれの職員が介助することで、安心して入浴していただけることに繋がります。また、各部門で集中してその部門について考えて動くため、それぞれの専門性が高く、より質の高いサービスを提供することができます。専門性を高めた後は、部門間の異動もあります！



加美北特別養護老人ホーム(大阪市平野区)

加美北特別養護老人ホームでは、認知症カフェ「かみきつ茶」など、認知症への理解を深めるための地域活動や、介護者への支援に力を入れています。認知症介護のプロである「認知症介護指導者」が複数在籍しております。認知症ケアについて、分からない事や疑問に思った事をすぐに質問できますし、研修を定期的実施しておりますので、無資格・未経験の方であっても働きながら知識を得ることができ、スキルアップも可能です。また、加美北特別養護老人ホームでは、季節に合わせた様々なイベントを毎月実施しています。より多くの利用者様に楽しんで頂けるよう、介護士や管理栄養士、生活相談員等、全職種が連携しながら企画・実施しています！



磯部管理者
関西福祉科学大学卒
介護福祉士・社会福祉士
介護支援専門員



浜特別養護老人ホーム(大阪市鶴見区)



山田主任
大阪ハイテクノロジー専門学校卒
介護福祉士・精神保健福祉士

浜特別養護老人ホームの新人スタッフは、まずは入浴班にて基本介助を学びます。次に排泄介助と食事介助を学び、その後ユニットフロアにてユニットケアを学びます。個々の成長に合わせて、研修・指導をしていきますので、ご安心ください！浜特別養護老人ホームでは、8人の管理栄養士が勤務しています。各フロアに管理栄養士を1名配置し、利用者様の「食」の充実を目指しています。デイサービスにも1名配置し、利用者様に喜んで頂けるよう、サービス向上を目指しています。



浜特別養護老人ホームの現役スタッフが、
ブログ・インスタグラムを更新しています！

「特養総務スタッフのつれづれ日記」
施設内のあれやこれやをつれづれを更新。



「はまどくよう管理栄養士のブログ」
毎日のお食事や出来事をゆる〜く更新。



インスタグラムアカウント「hamatokuday」
メニューの写真をお洒落にアップしています！

※勤務地については、希望施設を最優先で決定します。

■法人概要

法人名称	社会福祉法人 和悦会
設立	1996年(平成8年8月26日)
代表者	理事長 村本 真吾
事業内容	介護老人福祉施設3か所(従来型2か所・ユニット型1か所) 短期入所生活介護・在宅介護支援センター・通所介護・ 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター
法人所在地	大阪府羽曳野市古市2271番地114



羽曳野特別介護老人ホーム



加美北特別介護老人ホーム



浜特別介護老人ホーム

■福利厚生

- ◎社会保険制度完備
- ◎「残業ゼロ」に向けた取り組み実施
- ◎大阪民間共済会加入(例:結婚祝金3万円、出産祝金5万円、映画鑑賞チケット補助幹旋など)
- ◎産休・育休制度有り
- ◎退職金制度有り(第2退職給付金制度)
- ◎有給休暇取得の奨励
- ◎施設昼食代の一部補助

●入職前から入職後までサポートします！

和悦会には各施設に採用コンシェルジュが配置されています。採用コンシェルジュは、実際に現場で働いている多職種の職員が担当しています。新入職員との最初の関わり(合同説明会での業務説明など)から、施設見学時の施設案内や、内定者懇親会の企画・実施を担当し、新入職員が入職後は、教育を担当し、日常業務の指導はもちろん、フォローアップ研修の企画・実施を行います。新入職員にとって様々な場面での窓口となる事が多く、配属された施設に、入職前から関わっている採用コンシェルジュがいることで、不安なことや困ったことがあった時には、相談しやすく、安心して働ける環境作りに繋がっています。



和悦会 新人研修

「介護の現場ははじめて」という方でも大丈夫。
和悦会には、一人ひとりの成長を丁寧にサポートする研修制度があります。

● 新人職員研修の流れ

内定者 懇親会

施設見学や先輩との歓迎食事会などで親交を深めてください。複数回実施しますが、参加しているうちに次第と仲間が増えていきますよ。

辞令伝達式 (入社式)

4月1日の辞令伝達式では、自分の名前が呼ばれ、緊張の面持ちの中、社会人としての一歩がスタートします。

入職後 研修

辞令伝達式の後、午後から4日間にかけて、全員で業務に関する基本的な内容について座学と実習で学びます。その後、それぞれの職場に分かれ6月30日までの試用期間中の研修がはじまります。

配属決定

試用期間を終えた7月から正式任用となります。これまでの研修内容を踏まえて配属先が決定。

2年目へ

この1年で学んだことや経験を、後輩の新人職員に優しく、丁寧に指導してください。



3か月目・**6**か月目・**12**か月目・**36**か月目の区切りごとにフォローアップ研修を実施します!

成長に合わせて3年目終了時まで継続してサポートする研修制度があるため、安心して働いていただけます。

和悦会 2年目以降研修

介護の現場のプロフェッショナルを目指して、
2年目以降は、さらに研修内容も充実していきます。

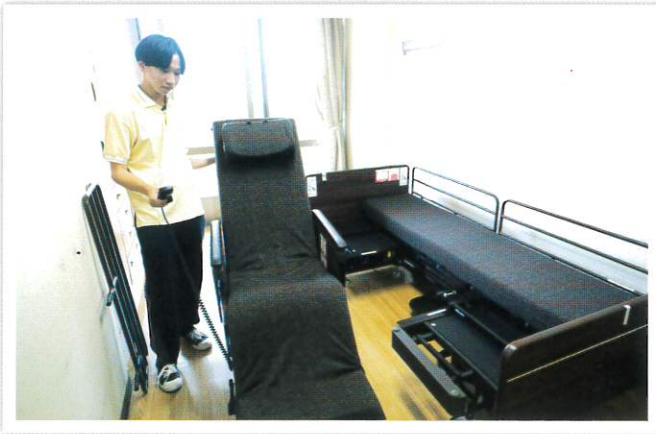
● 実務者研修

介護福祉士の取得を目指す方をサポートする制度です。やる気があれば、法律上義務化された「実務者研修450時間コース」を受けることもできます(法人内選抜あり)。費用面および時間面の両面からバックアップします。



● 実技研修

介護を行う職員の負担を軽減し、働きやすい職場をつくるために、常日頃から指導や訓練を行い、和悦会の介護の原点である「抱えない介護」の徹底を図っています。



● 各種フォロー研修

年間を通して定例の研修会や、その時々テーマに基づく研修会などを随時実施。職員一人ひとりのスキルアップはもちろん、法人全体でのサービス力向上を目指した取り組みを行っています。



あなたの生活に合った働き方が選べます!



和悦会には、子育てをしながら働くママがいっぱい。

それには、3つの理由があります。



役職そのままに、
産休・育休の取得ができる!

産休・育休から復帰しても、パートタイムになるという心配はなく、正社員のままで働くことができます。また、役職も休暇前と変わりません。



復帰後も、子どもの成長に合わせて柔軟な働き方を実現!

たとえば、「子どもが受験だから夜食を作ってあげたい」「子どもや家族と一緒に毎日夕食を囲みたい」そんな要望にも和悦会はお応えします。夜勤なしの相談など、ご希望があれば自由に相談してください。



和悦会には先輩ママがたくさん!
子育てと仕事の両方を相談できる!

仕事と子育てを両立しているママが、和悦会にはたくさんいます。何か困ったことがあったら、いつでも気軽に先輩ママに相談できる環境があるので安心です。

● 和悦会はライフイベントに合わせて働き方を選択できる制度があります。

これはママに限らず、
全職員対象の制度
なんだって♪

例えば、色々な理由で
「夜勤ができない」「早出ができない」
「月曜日は休みたい」等の希望があっても、
正社員で働き続けることが出来るらしいよ!

和悦会は職員の
ワークライフバランスを
大切にしてるんだね♪



「体力に自信がなくても大丈夫？」



和悦会では、「抱えない介護」により
職員の腰や体に優しい介護を実践しています。

● 「抱えない介護」とは

移乗用リフトなどの介護機器を使用することで、介護者の腰痛などのリスクを減らす新しい介護のカタチです。従来は、入浴介助やおむつ替え、食事介助など、介護作業において、相手を持ち上げたり、支えたりする際、中腰や前かがみの姿勢で相手の体重を受け止めることが多く、介護者の体に大きな負担がかかっていました。和悦会では、平成14年に「抱えない介護」を生み出し、介護の仕事につきまとう「腰痛の課題」にいち早く取り組んでいます。



● 「和して悦ぶ」という理念の精神に基づき、利用者様の安全や安心はもちろん、職員の健康を守り、働きやすい職場づくりを実践しています。

介護士って どんな仕事?!



同じ介護士とはいっても、病院で働くのと介護施設で働くのでは、仕事の中身や役割もそれぞれ。1日の仕事や職場の雰囲気を見て感じて、ここで働く自分の姿をイメージしてみてください。

介護士の役割

看護師や管理栄養士、作業療法士など、他職種の職員と連携を図りながら、専門的かつ技術的な介助によって、利用者様の穏やかかつ健やかな日常生活をお手伝いします。

主な仕事

利用者様の移動や食事、入浴や排泄といった日々の生活の介助を行うのが主な仕事です。レクリエーションなども企画し、様々な角度から体と心のケアをサポートします。

こんなあなたに

- 人の話を聞くのが好き
- 人を思いやる心を大切にしている
- 人と関わるのが好き



1日の 仕事の流れ

 情報の収集・水分補給の準備
10:00

出勤後、夜間から今朝までの利用者様の状態変化や対応の変化を連絡帳で確認し、水分補給の準備と介助をします。

 昼食の介助
11:45

昼食の配膳と食事介助を行います。介助のスピードや、量などにも配慮し、利用者様のペースに合わせた介助を行います。

 昼礼
13:05

フロア班、排泄班、入浴班、生活相談員や看護師など、他職種の職員と午前中の申し送りと午後の予定の確認を行い、昼礼後にお昼休憩をとります。

 業務終了
19:00

食事量の記録など、日誌の記入を終えたら業務終了です。

 夕食の介助
17:30

昼食と同様に配膳と食事介助を行います。夕食終了後は下膳し、食事量を記録します。

 おやつを用意と介助
15:00

おやつと水分を用意し介助を行います。その後、ご希望に応じて、お部屋で横になって頂くお手伝いをします。





今があるのは、弱みを強みに変えてくれた先輩のおかげ。

笠松 実歩 平成22年入職(武庫川女子短期大学卒)

Q 未経験の業界に不安はありませんでしたか？

A 学生時代は福祉とはまったく関わりがなく、入職時は知識も資格もゼロからのスタートでしたが、研修が充実していて、半年以上に渡って介護の基本的な知識や技術を習得でき、しっかり身につけてからステップアップできるので不安もありませんでした。昨年には介護福祉士の資格も無事取得することができました。

Q 先輩や上司など職場の環境はどうですか？

A 入職当初、何も知識や経験が無いことを弱みだと思っていた私に「何も無いからこそ何でも吸収できるんだから、それを強みにすれば良い」と上司に言われました。それを機に考え方がポジティブに変わりました。仕事では頼りになって、プライベートではやさしくて楽しくて。この職場での関係性があるから、こうして今も仕事を続けられているような気がします。

Q 仕事をする上で大切にしていることは何ですか。

A 利用者様一人ひとりの心の声を汲み取るために、とにかく話を聞くようにしています。日中の様子や状況に目を配って、様子が気になった方がいれば、積極的にコミュニケーションをとるようにしています。そうやって実際に話してみると、新しい発見があり、介助の仕方や対応にも活かすことができます。

OFFの過ごし方

先輩や後輩とはプライベートでもとても仲良くしています。一緒にカラオケに行ったり、家で集まってホームパーティをしたり、時間があればテーマパークへ出かけたりもしています。

